

# CSR 目標と実績

東京エレクトロン (TEL) は、マテリアリティとそれぞれの重点テーマに沿った年度目標および中期目標を設定しています。目標達成に向けた取り組みをグループ全体で推進し、結果を評価・改善につなげ、企業価値のさらなる向上を目指します。

## 2017 年度

マテリアリティ	重点テーマ	年度目標	実績
製品競争力の強化	価値創造に向けた技術革新への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>全機種における次世代向け新製品数の割合 (3カ年移動平均) 5% 以上</li> <li>グローバル特許出願率 前年水準を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9.2% を達成</li> <li>前年度水準を維持し、76.0% を達成</li> </ul>
	製品の環境貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェーハ当たりのエネルギー使用量・純水使用量 10% 削減 (2018 年度まで、2013 年度比)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 機種で達成済み</li> </ul>
顧客対応力の強化	顧客ニーズの的確な把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足度調査 3 点以上 (満足) の項目の割合 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>64.9% を達成</li> </ul>
	顧客価値創造のためのソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまにおける TEL の価値向上</li> <li>FS 事業の売上高 前年度比増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旺盛なメモリ需要を背景に、主要顧客における TEL 装置採用率の向上を達成</li> <li>前年度比 31.4 % 増加</li> </ul>
利益体質の強化	高品質製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質改善コスト 前年度比削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度比 9.8% 削減</li> </ul>
	プロセスの付加価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスプロセスの見直しによる営業業務工数 前年度比削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業業務を支援するシステムの一部を導入</li> </ul>
活力ある人と職場	人権とダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>入社 3 年後定着率 100%</li> <li>年次有給休暇取得率 70%</li> <li>ヘルスケアプラットフォーム「Pep Up」の普及率 前年度比増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>92.9% → 93.4% に向上</li> <li>2 年目社員向け「ステップアップ活動研修」などの取り組みを実施</li> <li>64.1% → 64.3% に向上 (前年度比 0.2 ポイント増加)</li> <li>期初に時間外労働削減施策方針を発信し休暇取得を促進</li> <li>2 割増加 (47.1% → 67.2% に向上)</li> <li>活動量計を配付し健康への自覚を促進</li> </ul>
	ワーク・ライフ・バランス		
	人材開発		
	健康		
持続可能な経営基盤	コーポレートガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会実効性評価の結果認識された課題に対する改善</li> <li>内部通報制度の見直し (社外窓口の新規設置、対象者範囲など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「討議時間の拡充」という課題に対し、1泊2日のオフサイト会議を開催して中長期の成長戦略など経営方針・戦略に関する討議時間を拡充</li> <li>国内グループ会社の社外窓口、お取引先さま通報窓口を設置</li> </ul>
	安全マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働時間 20 万時間当たりの人身事故発生率 (TCIR) 0.5 未満</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0.38 を達成</li> </ul>
	環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量 (原単位) 前年度比 1% 削減</li> <li>水使用量 (原単位) 2011 年度水準を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11 事業所中 6 事業所で達成*</li> <li>14 目標中 11 目標で達成</li> <li>*見直し後の新原単位による</li> </ul>
	サプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン CSR アセスメントを実施したサプライヤー率 調達額の 80% 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達額 80% 以上を占めるサプライヤーにアセスメントを実施</li> </ul>

## 2018 年度

マテリアリティ	重点テーマ	年度目標	中期目標	関連する SDGs
製品競争力	技術革新への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>全機種における次世代向け新製品数の割合 (3カ年累計) 20% 以上</li> <li>グローバル特許出願率 前年水準を維持</li> </ul>	強いネクストジェネレーションプロダクトの創出	 
	製品の環境貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェーハ当たりのエネルギー使用量・純水使用量 10% 削減 (2018 年度まで、2013 年度比)</li> </ul>		
顧客対応力	顧客価値創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまにおける TEL の価値向上</li> <li>FS 事業の売上高 前年度比増加</li> </ul>	唯一無二の戦略的パートナーになる	 
	顧客満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足度調査 3 点以上 (満足) の項目の割合 100%</li> </ul>		
生産性向上	品質マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質改善コスト 前年度比削減</li> </ul>	経営効率向上の継続的な追求	 
	バリューチェーンにおける品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスプロセスの見直しによる営業業務工数 前年度比削減</li> </ul>		
人と職場	ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性管理職比率を倍増 (2020 年度まで、2017 年度比)</li> </ul>	夢と活力の最大化	 
	キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 人当たりの受講講座数 前年度比 10% 増</li> </ul>		
	ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次有給休暇取得率 70%</li> </ul>		
	健康と安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康年齢*と実年齢の差を 1.5 ポイント減 (2020 年度まで、2017 年度比)</li> <li>*健診結果に基づいて生活習慣病リスクを年齢で表現した指標</li> <li>労働時間 20 万時間当たりの人身事故発生率 (TCIR) 0.5 未満</li> </ul>		
経営基盤	ガバナンス・コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会実効性評価の結果、認識された課題に対する改善</li> <li>内部通報の社外窓口の海外展開/社内窓口の再整備</li> </ul>	価値向上に向けた経営基盤の構築	  
	人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育受講率 100%</li> </ul>		
	環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所におけるエネルギー使用量 (原単位*) 前年度比 1% 削減</li> <li>*原単位: 各地区ごとに開発評価機台数、生産台数、床面積、工数の複合重みづけにて算出</li> <li>各事業所で設定した原単位*による水使用量 2011 年度水準を維持</li> <li>*原単位: 各地区で床面積、人数などをもとに算出</li> </ul>		
	サプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン CSR アセスメントを実施したサプライヤー率 調達額の 80% 以上</li> </ul>		